

背景・課題

万博をきっかけに挑戦が出来るまちをつくりたい

- 「共創活動」を生み出すコミュニティマネージャーの仕事をしているなか、大阪・関西万博まで機運を高めていく、盛り上げていくイベント等の取組に参加。
- 日々万博を盛り上げる活動をするなか、万博は「国が何かやってくれる」姿勢だと勿体ないと感じた。批判だけではなく、これを機会に自分で動くことに換えていく必要があると仲間たちと考えた。



アイデア・ノウハウの普及や万博終了後もそこで生まれた価値がまちに残り続ける状況を目指す。

Expansion・Expand／これから

万博会期中に会場と各地を結ぶ企画を実施

- 夢洲会場「EXPOアリーナ“Matsuri”」で、今まで関わってきたEXPO酒場の関係者が集まるお祭りイベント「EXPO共鳴 FES〜人間響命祭〜」を開催。
- 万博会場と夜の大阪のまちを結ぶ「夜のパビリオン」。EXPO酒場本店が常設され、大阪と今まで連携してきた地域を繋ぐ。各地の取組を知ってもらうとともに、各地域への送客に繋げる計画をしている。



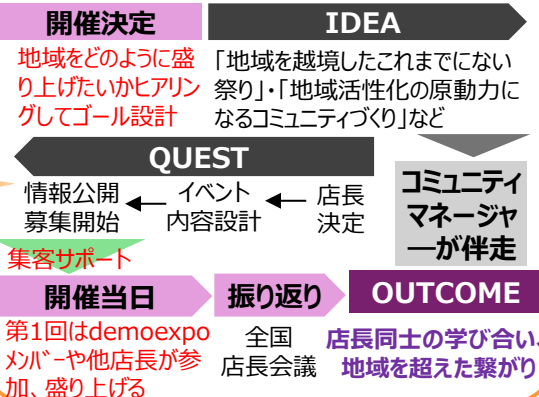
主な取組

「万博」に引っ掛けて「まちの未来」を考える取組開催



注目

EXPO酒場



- 「放っておくのはよくない」と、ある意味万博を言い訳にしてまちが主役になる、自分事になる、会期中ブーストできる取組を仕掛ける一般社団を設立。ビジョンとして全員参加できる万博の仕組みをつくる「街ごと、万博にする」を掲げて活動。
- 賛同いただいた各地域にて「EXPO酒場」を開催。伴走支援して各地が持っている問題意識に合わせたイベント・議論を展開中。

まちなかから多様なプロジェクトが生み出す起点としての役割も担い、全国18都道府県で81回実施、累計5,300名が参加（2022年4月～2025年3月）。

メッセージ／想い

取組に共感された方と是非ご一緒に「共創」を

- 「EXPO酒場」は、万博をキーワードに「面白そうだから」と参加。自治体だけではなく大学もある。そこから新たな関係性や動きが生まれ、次の関係性やレガシーに繋がっていったと感じる。
- 少し背中を押したら動ける人にとって万博はよい言い訳になっている。是非同じ気持ちを持つ方と一緒に「共創」へ取り組みたい。

